

一緒に考えよう 日本の難民問題

迫害や紛争、さまざまな理由によって、母国から逃げざるを得ない「難民」と呼ばれる人たちがいます。母国を追われて日本にたどり着いた難民は、さらに日本の難民制度に苦しめられています。

日本は1981年に難民条約に加盟しましたが、難民認定申請者の保護政策はほとんどありません。2017年、約2万人の難民申請者に対して、認定されたのはわずか20人でした。そして、難民が収容されている入国管理局では、ずさんな収容実態や収容者の自殺といった深刻な問題が明らかになっています。

関西を中心に難民と一緒に暮らせる街をめざし、活動をおこなっているRAFIQ（ラフィック）の田中恵子さんに難民が生まれる背景や、日本における難民の現状や課題について、わかりやすくお話しいたできます。

8/29
(水)

18:30 ~ 20:30

一時保育あります。

8月22日までにお申し込みください。1歳から小学3年生まで。ひとり300円。

お話：田中 恵子 さん

(RAFIQ 在日難民との共生ネットワーク共同代表)

会場：豊中人権まちづくりセンター (阪急豊中駅徒歩10分・岡町駅徒歩8分)

入場
無料

申込：当日会場。先着順。

(事前申込も可能です)

定員：50名

主催：豊中人権まちづくりセンター

企画・運営：(一財)とよなか人権文化まちづくり協会

☎06-6841-5300 FAX06-6841-6655

Mail: bwz37306@nifty.com

とよなか人権文化まちづくり協会

